

「大阪市をバラバラにはしません」と言いながら

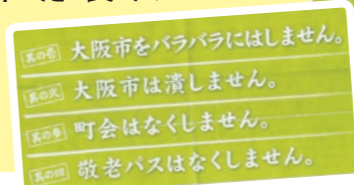
↓大阪市も24区もなくなる



- 5つの「特別区」庁舎
- 北区 現大阪市役所本庁
 - 湾岸区 現港区役所 (面積が不足するのでATCビルに)
 - 東区 現城東区役所 (面積が不足するので新庁舎建設)
 - 南区 現阿倍野区役所 (面積が不足するので新庁舎建設)
 - 中央区 現西成区役所 (面積が不足するので新庁舎建設)

「大阪市をバラバラにしません」と市長選挙で公約していた橋下市長が、大阪府を廃止し、5つに分割する「都」構想に突進。126年の歴史ある大阪市をなくし、市民が築いてきた財産も、財源も府(都)に吸い上げようとしています。

区役所は窓口だけの「支所」になり、防災や地域振興は遠くの「特別区庁舎」の仕事となります。



「大阪市民はぜいたく」と言って

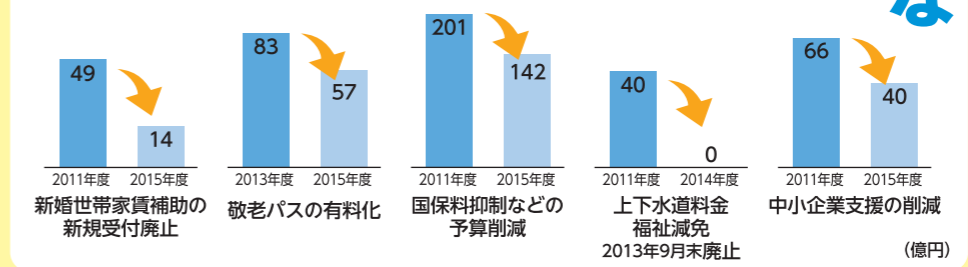
↓くらし切り捨て カジノなどムダな大型開発に

橋下市長は「保健・医療・福祉・教育を充実させます!!」と公約していましたが、市長になると市民向け施策を「ぜいたく」と言って切り捨て(下表)。削ったお金を「僕は寝ても覚めても港湾、空港、高速道路を考えている(橋下氏)」として大型開発に投入しようとしています。

「特別区」になると

- 国保料は一人あたり年間2万3千円の値上げに
- 介護保険の減免制度がなくなりさらに負担増に
- 老人福祉センターの削減
- プールの削減
- 子育てプラザの削減

橋下市政で次々削られたくらしの予算



「職員は市民に命令する立場」と言っ

↓一人の「指揮官」でやりたい放題

橋下市長は、「職員は市民に命令する立場」と言い、憲法違反の思想調査や公募校長の押しつけなど、民主主義破壊と教育への介入を続けてきました。いま、大阪市の財源を「むしり取り」(橋下氏)、市議会をなくし、一人の「指揮官」でカジノなどに集中投資する体制「都」構想をすすめています。



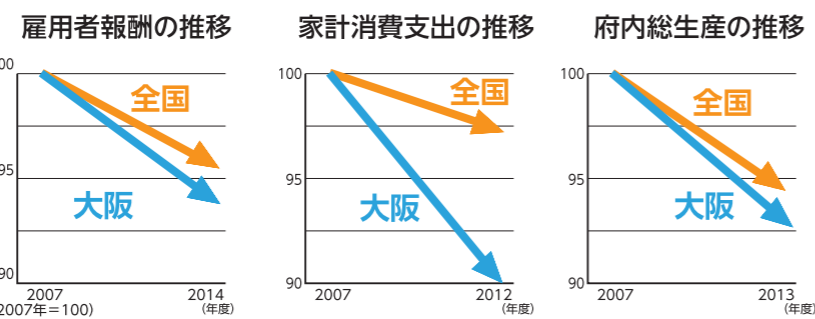
「カジノは『大阪都』の『試金石』」
(橋下市長)

総額1兆5000億円にもなる大型開発計画(一部)

事業内容	概算事業費
地下鉄「なにわ筋線」 大阪から関空まで5分の短縮	約2500億円
高速道路・淀川左岸線延伸部 人口と交通量が減る中での整備計画	約3000億円～4000億円

維新府・市政7年間
どこよりも
落ち込む
大阪経済

「府知事、大阪市長をした経験から経済成長のためには『都』構想」と言う橋下氏。ところがどこよりも落ち込みが激しいのが維新府政・市政の7年間です。バラ色宣伝で市民に幻想をふりまきますが、その破たんぶりがあらわです。



税金つかって大阪市廃止・解体なんて

住民投票へ、「維新の党は、『広報予算に4億~5億円を見込み、多くは…政党交付金をつぎ込む』と報道されています。政党交付金といえば、もとは国民の税金です。また、橋下市長は、市の「住民説明会」を「僕の説明会だ」と言い、橋下氏の一方的説明を載せた広報誌などに税金を2億円も使っています。

維新だけで決め一度、否決されたものなのに…

住民投票に付されている「大阪市廃止・解体」構想の原型は、維新以外の委員を排除して作ったもの。もちろん区割りも含めて市民にはいっさい相談はありません。市議会・府議会で、昨秋、一度は否決されました。それを東京の官邸頼みでよみがえらせたのです。背景に憲法改悪の思惑があり、マスコミからも「政治的取引の材料にするのであれば認められない」などの批判が噴出しました。